

資料2-1

大飯発電所敷地内破碎帶の評価について

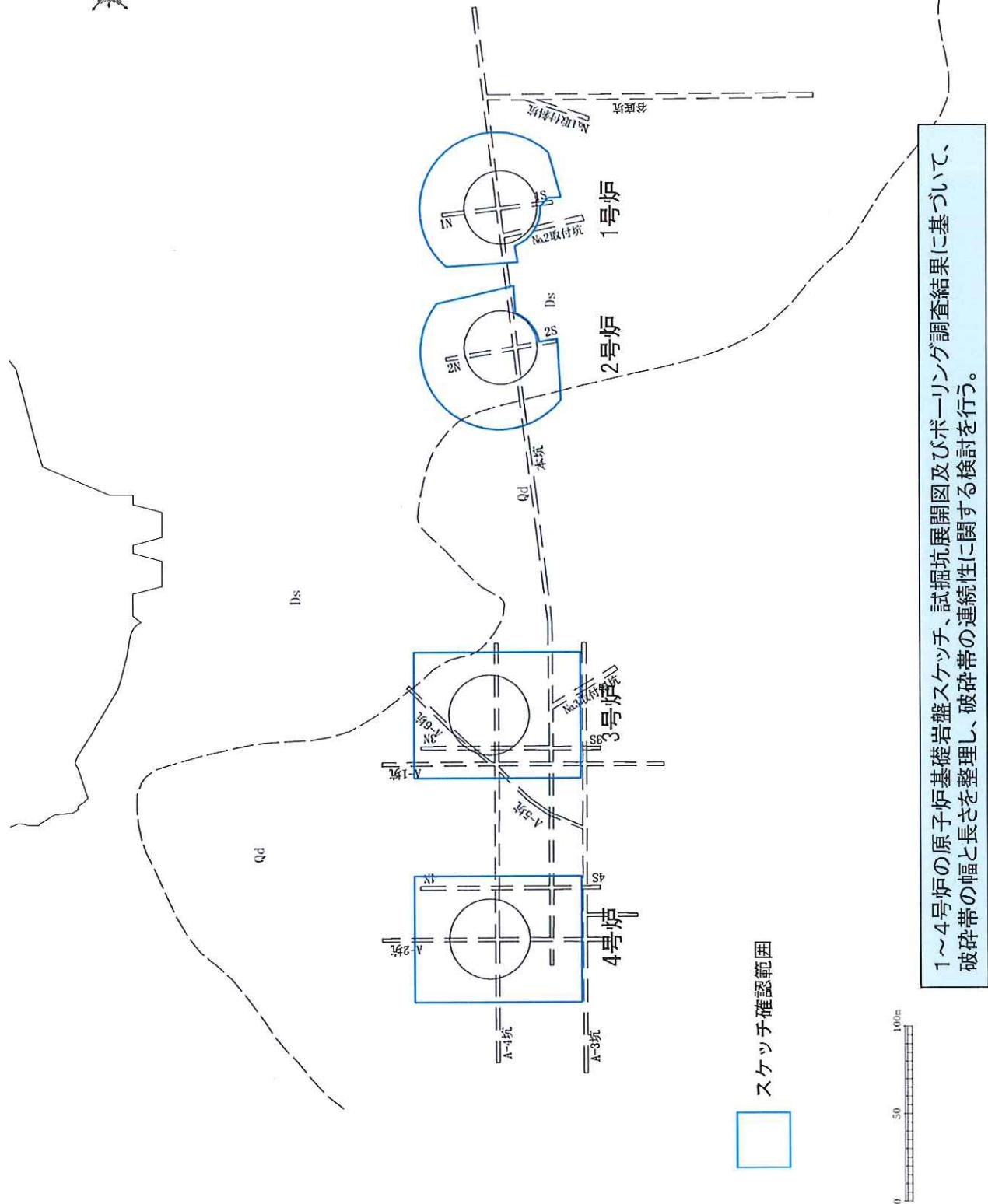
平成26年2月5日

関西電力株式会社

3. 破碎帯の幅と長さの関係を踏まえた大飯発電所における破碎帯の特性把握

- ・原子炉基礎岩盤スケッチ及びその他調査結果を用いた破碎帯の幅と長さの関係に関する検討
破碎帯の幅と長さの関係に関する検討 →連続性に乏しい破碎帯の幅の把握
- ・破碎帯の幅と長さの関係を踏まえた大飯発電所における破碎帯の特性把握

大飯-現調6-1
(H25.8.19)
P.14再掲

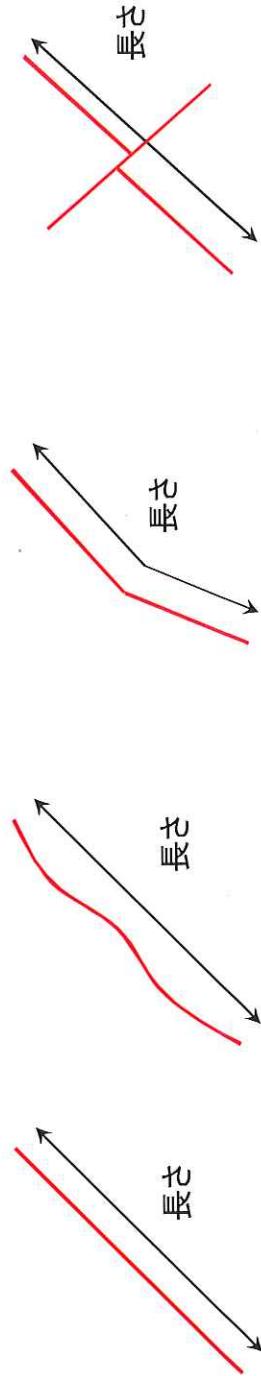


1～4号炉の原子炉基礎岩盤スケッチ、試掘坑展開図及びボーリング調査結果に基づいて、
破碎帯の幅と長さを整理し、破碎帯の連続性に関する検討を行う。

原子炉基礎岩盤スケッチ及び試掘坑位置図

- ・破碎帯の幅(は、原子炉基礎岩盤スケッチ及び試掘坑展開図に記載されている最大幅)を用いた。

- ・破碎帯の長さ(は、以下のように図読により計測した。)



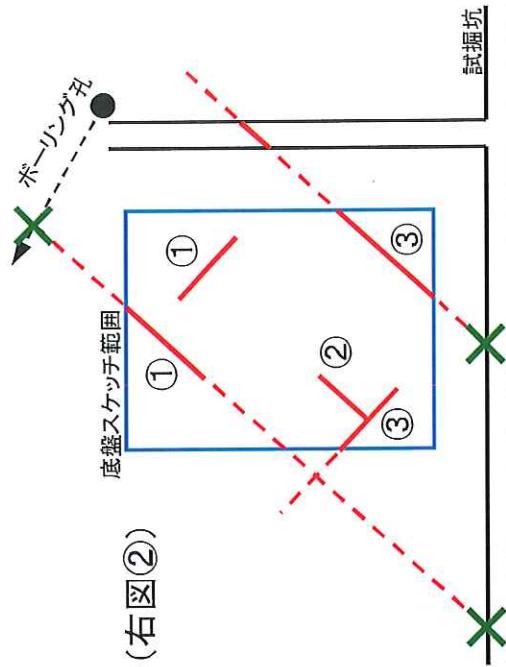
※走向傾斜等から元々連続していたと判断されるものについては、その両端を長さとした。

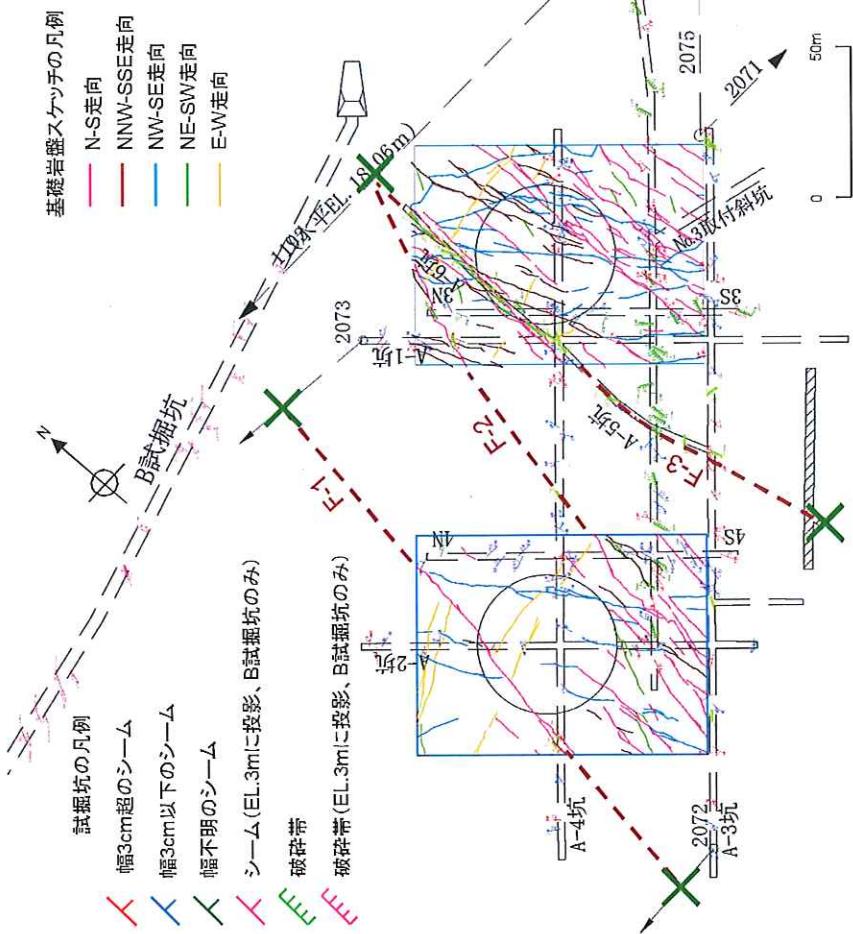
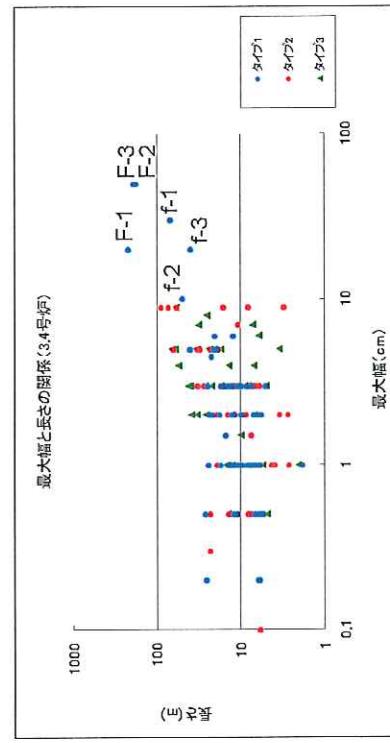
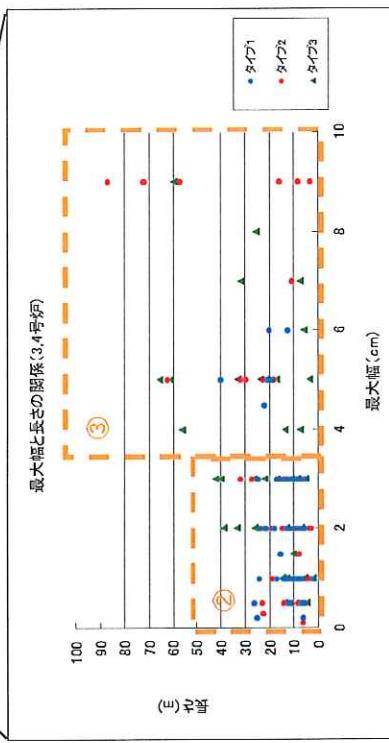
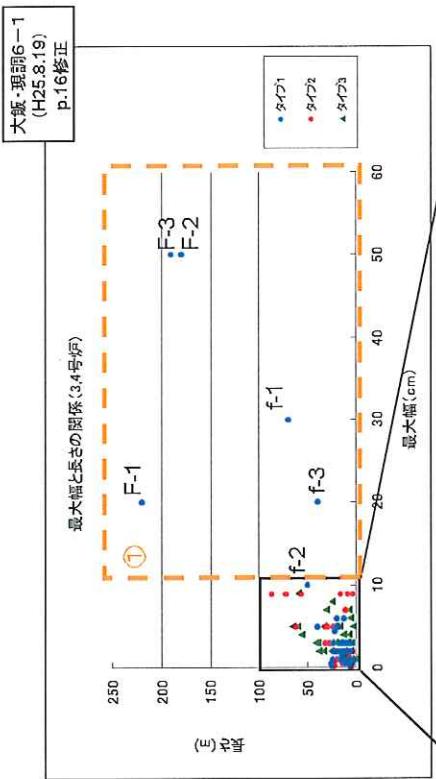
・破碎帯のタイプ

タイプ1：両端が確認できるもの(右図①)

タイプ2：両端が確認でき、端部が他の破碎帯に切られているもの(右図②)

タイプ3：片側の端部が確認できないもの(右図③)

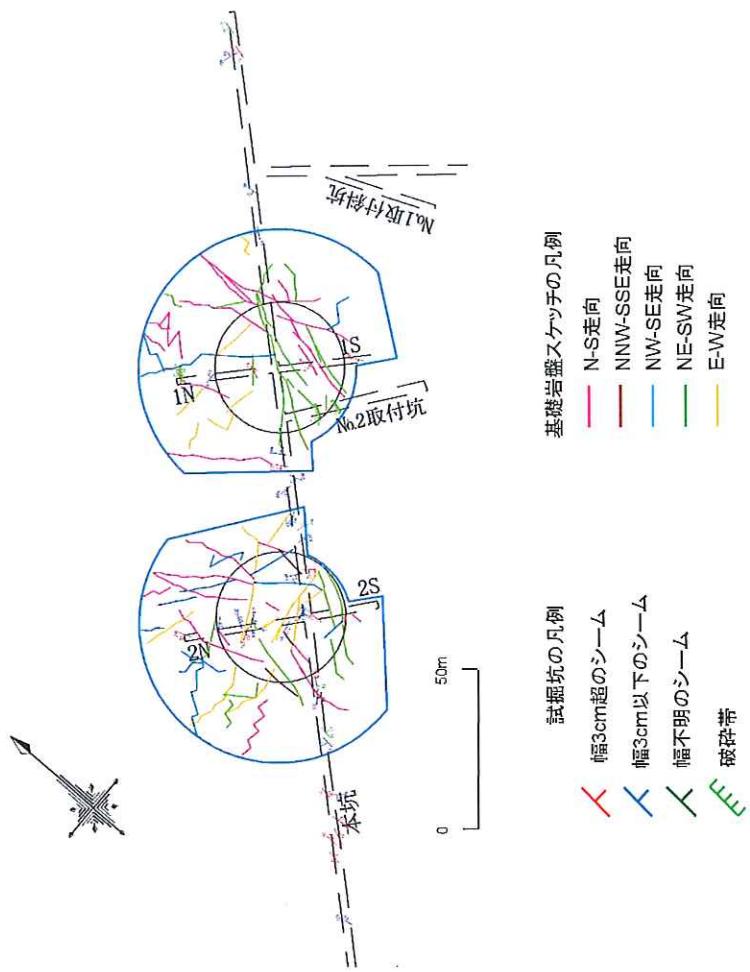
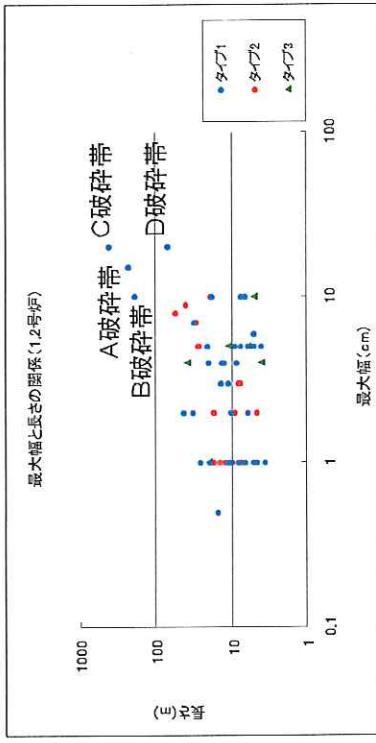
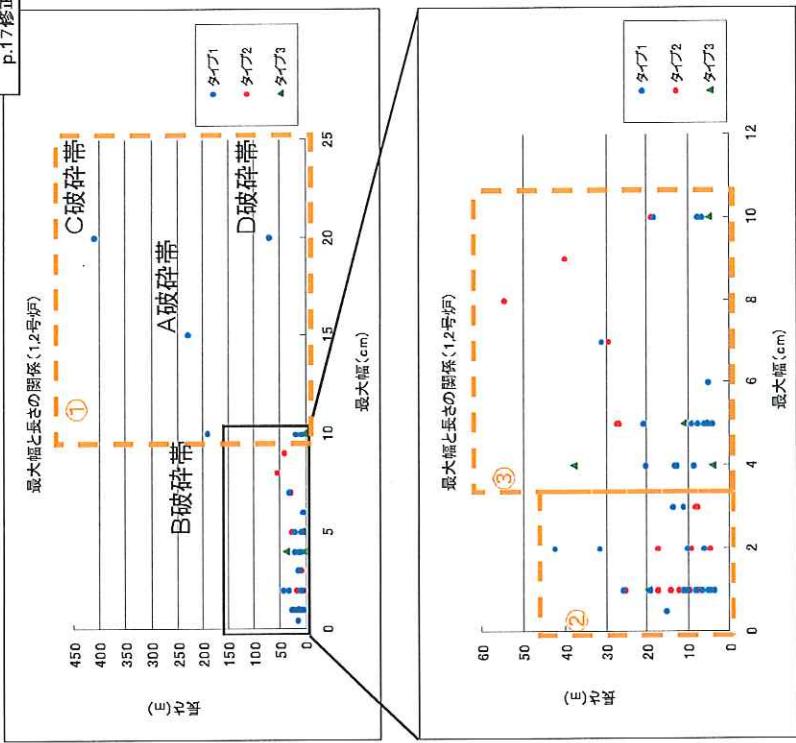




- 破砕帶の幅:10cm以上の場合
・最大長さは100m以上になりうる。(①:F-1~F-3はN-S走向)

○破碎帶の幅:3cm以下の場合
　　一量十尺六寸五分三厘半溝である。清潔性に至り、ノコヒが正確な(?)

- 破碎帯の幅:3cmを超え、10cm未満の場合
 - ・最大長さは60~70m程度以下となる傾向がある。
 - ・ただし、一部の破碎帯(N-S走向)ではや長くなる場合も認められるが、最大長さは100m未満である。(③)



の破砕帶の幅:10cm以上の場合
・最大長さは100m以上になります。(①)

の破碎帯の幅:3cm以下の場合は最大長さは10cm程度であり、連續性に乏しいことが確認された。(?)

・破砕帯の幅:3cmを超え、10cm未満の場合
・最大長さは60m程度以下となる。(③)

【原子炉基礎岩盤スケッチを用いた破碎帯の幅と長さの関係に関する検討結果】

(1) 3・4号炉側(細粒石英閃綠岩)

- ・幅3cm以下の破碎帯の最大長さは30～40m程度以下で、連續性に乏しいと考えられる。
- ・幅3cmを超える、10cm未満の破碎帯の最大長さは100m未満で、N-S走向の破碎帯(F-1～F-3破碎帯)を超えて延伸することは無い。
- ・幅10cm以上の破碎帯の最大長さは、100m以上になります。

(2) 1・2号炉側(輝綠岩)

- ・幅3cm以下の破碎帯の最大長さは40m程度以下で、連續性に乏しいと考えられる。
- ・幅3cmを超える、10cm未満の破碎帯の場合でも、長さ60m程度以下と連續性に乏しい。
- ・幅10cm以上の破碎帯の最大長さは、100m以上になります。



【原子炉基礎岩盤スケッチを用いた破碎帯の幅と長さの関係に関する検討結果のまとめ】

- ・幅3cm以下の破碎帯の最大長さは、50m未満。
- ・幅3cmを超える、10cm未満の破碎帯の最大長さは、100m未満。
- ・幅10cm以上の破碎帯の最大長さは、100m以上になります。



【破碎帯の幅と長さの関係を踏まえた大飯発電所における破碎帯の連続性検討】

- ・幅3cm以下の破碎帯は連續性に乏しいため、以下の連続性検討の対象外とする。
- ・ただし、各破碎帯の端部位置の確認には、幅3cm以下の破碎帯を含めて検討する。